

## 各種一覧

### ■分子科学フォーラム

回	開催日時	講演題目	講演者
第119回	平成31年1月11日	分子科学フォーラム・特別編「基礎研究が拓く水素の科学」	小林 玄器 (分子科学研究所 准教授) 杉本 敏樹 (分子科学研究所 准教授)
第120回	平成31年2月8日	宇宙線ミュオンイメージングによるクフ王ピラミッドの新空間の発見	森島 邦博 (名古屋大学高等研究院 特任助教)

### ■分子研コロキウム

回	開催日時	講演題目	講演者
第923回	平成30年9月27日	Doping of Molecular Monolayers: The Impact of Potassium Atoms	Prof. Torsten Fritz (Institute of Solid State Physics, Friedrich Schiller Universität Jena)
第924回	平成30年10月19日	「究極のらせん高分子の創成をめざして」 "Toward the Development of Ultimate Helical Polymers"	八島 栄次 (名古屋大学大学院工学研究科 教授)
第925回	平成30年11月8日	Very Strong and Confined Acids Enable a General Approach to Asymmetric Lewis Acid Catalysis	Prof. Benjamin List (Max-Planck-Institut für Kohlenforschung)
第926回	平成30年11月15日	The German Energy Transition in the European Context – Can the ambitious goals be reached?	Prof. Eberhard Umbach (Director of Academy Project "Energy Systems of the Future", University of Wuerzburg, and Karlsruhe Institute of Technology, Germany)
第927回	平成30年11月28日	The materials of tomorrow, today.	Prof. Alán Aspuru-Guzik (Department of Chemistry and Department of Computer Science, University of Toronto)
第928回	平成31年1月18日	Catalysis in the production of molecules and materials	Prof. Cathleen Crudden (Department of Chemistry, Queen's University / WPI-ITbM (名古屋大学))
第929回	平成31年2月22日	Hybrid Classical-Quantum Simulations in the Innsbruck Quantum Cloud	Prof. Peter Zoller (Center for Quantum Physics, University of Innsbruck, and Institute for Quantum Optics and Quantum Information, Austrian Academy of Sciences, Innsbruck)

### ■職場体験・出前授業開催一覧

#### 職場体験

受入日	受入学校名	受入グループ
平成30年6月5日～6日	豊田市立若園中学校・豊田市立上郷中学校	UVSOR、機器センター
平成30年6月12日～13日	岡崎市立竜海中学校	平本 G、栗原 G
平成30年6月12日～13日	岡崎市立南中学校	計算科学研究センター、楳山 G
平成30年6月18日～19日	岡崎市立城北中学校 (A)	山本 G、藤 G
平成30年6月18日～19日	岡崎市立城北中学校 (B)	飯野 G、中村 G
平成30年11月13日～14日	岡崎市立矢作北中学校	斉藤 G、加藤晃一 G
平成30年11月15日～16日	岡崎市立美川中学校・岡崎市立額田中学校	正岡 G、装置開発室

#### 出前授業

開催日	開催校	担当教員
平成30年7月3日	岡崎市立福岡中学校	栗原顕輔 特任准教授
平成30年10月17日	岡崎市立常磐中学校	斉藤真司 教授
平成30年10月29日	岡崎市立岩津中学校	中村敏和 准教授
平成30年11月15日	岡崎市立南中学校	須田理行 助教
平成30年12月5日	岡崎市立額田中学校	平本昌宏 教授
平成30年12月16日	岡崎市立東海中学校	平等拓範 教授 (分子科学研究所兼任)

■人事異動（平成30年6月2日～平成31年11月1日）

異動年月日	氏名	区分	異動後の所属・職名	現（旧）の所属・職名	備考
30. 8.16	渡辺 大輝	採用	生命創成探究センター創成研究領域 特任助教	株式会社生体分子計測研究所	
30. 8.16	渡辺 大輝	併任	生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 特任助教	生命創成探究センター創成研究領域 特任助教	
30. 8.31	武井 宣幸	辞職	京都大学大学院理学研究科 特定准教授	光分子科学研究領域光分子科学第二研究部門 助教	
30. 9. 1	内藤 茂樹	昇任	技術課計算科学技術班 計算科学技術三係長	技術課計算科学技術班 計算科学技術三係 主任	
30. 9. 1	松尾 純一	昇任	技術課計算科学技術班 計算科学技術一係 主任	技術課計算科学技術班 計算科学技術一係 係員	
30. 9. 1	澤 昌孝	昇任	技術課計算科学技術班 計算科学技術三係 主任	技術課計算科学技術班 計算科学技術三係 係員	
30. 9. 1	石山 修	採用	機器センター 特任研究員		
30. 9.13	MENG, Zengming	辞職	Shanxi University	光分子科学研究領域光分子科学第二研究部門 研究員 (IMS フェロー)	
30. 9.30	平等 拓範	辞職	理化学研究所放射光科学研究センター先端光源開発研究部門グループディレクター	メゾスコピック計測研究センター繊細計測研究部門 准教授	
30. 9.30	古谷 祐詞	辞職	名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授	生命・錯体分子科学研究領域生体分子情報研究部門 准教授	
30. 9.20	YU, Liwei	辞職	(株) SanDisk Staff Engineer	物質分子科学研究領域電子構造研究部門 特任研究員	
30. 9.30	安藤 嘉倫	辞職	名古屋大学工学研究科 特任准教授	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 特任研究員	
30. 9.30	木村 和典	辞職	技術課電子機器開発技術班電子機器開発技術係 係員	技術課 特任専門員	
30. 9.30	岩野 由季絵	辞職		機器センター 特任専門員	
30. 9.30	小杉 信博	兼終 任了	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所長	光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 教授（兼任）	
30. 9.30	柳井 毅	兼終 任了	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 教授（兼任）	
30.10. 1	素川 靖司	採用	光分子科学研究領域光分子科学第二研究部門 助教	科学技術振興機構 さきかけ専任研究員	
30.10. 1	木村 和典	採用	技術課電子機器開発技術班電子機器開発技術係 係員	技術課 特任専門員	
30.10. 1	BHARTI, Vincet	採用	光分子科学研究領域光分子科学第二研究部門 研究員		
30.10. 1	鈴木 勝	採用	極端紫外光研究施設 技術支援員		
30.10. 1	稲垣 恵子	採用	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 事務支援員		
30.10. 1	岡田 知	採用	生命創成探究センター創成研究領域事務支援員		
30.10. 1	矢木 真穂	併任	生命創成探究センター極限環境生命探査室 助教	生命創成探究センター創成研究領域 助教	
30.10. 1	平等 拓範	兼委 任嘱	メゾスコピック計測研究センター繊細計測研究部門 教授（兼任）	理化学研究所放射光科学研究センター先端光源開発研究部門グループディレクター	
30.10. 1	古谷 祐詞	兼委 任嘱	生命・錯体分子科学研究領域生体分子情報研究部門 准教授（兼任）	名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授	
30.10.23	ZHAO, Pei	採用	理論・計算分子科学研究領域計算分子科学研究部門 研究員		
30.10.31	竹入 史隆	辞職	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 助教	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 特任研究員	
30.10.31	鈴木 勝	辞職		極端紫外光研究施設 技術支援員	
30.11. 1	竹入 史隆	採用	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 助教	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 特任研究員	
30.11. 1	千葉 史朱香	採用	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 事務支援員		

## 編集後記

分子研レターズ79号をお届けいたします。今号が皆様のお手元に届く頃には、春の陽射しに誘われて桜の蕾もほころんでいるのでしょうか。年末年始のご多忙の中ご執筆をお引き受けいただきました皆様に編集委員一同より厚く御礼申し上げます。

今号も研究会開催報告、海外研究機関との学術交流、数多くの受賞、分子研を経由なさった先生方のご活躍、共同研究ハイライト、アウトリーチ活動、大学院関係イベントなど分子研における活動状況および最新の分子科学の動向をお伝えすることができたのではないかと思います。分子研レターズは分子科学コミュニティとの交流媒体としての役割を担いますが、一般の方々に分子研の理解を深めていただくとともに先端科学技術への関心を高めていただくことを目的として3年に一度の一般公開があります。2018年度は過去最多4000人近くの来場がありましたが、今号では広報の方々のご尽力の様子が印象的で敬服しないではいられません。言うまでもなく内外の皆様に支えられての分子研でございます。引き続きのご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

編集担当 石崎 章仁

## 分子研レターズ編集委員会よりお願い

### ■ご意見・ご感想

本誌についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、投稿記事も歓迎します。下記編集委員会あるいは各編集委員あてにお送りください。

### ■住所変更・送付希望・送付停止を希望される方

ご希望の内容について下記編集委員会あてにお知らせ下さい。

分子研レターズ編集委員会

FAX : 0564-55-7262

E-mail : letters@ims.ac.jp

<https://www.ims.ac.jp/>

I M S Letters

分子研と研究者をつなぐ

VOL. 79

# 分子研レターズ

発行日 平成31年3月(年2回発行)

発行 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構  
分子科学研究所  
分子研レターズ編集委員会  
〒444-8585

愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

編集 山本浩史(委員長)  
石崎章仁(編集担当)  
岡本裕巳  
奥村久士  
加藤政博  
繁政英治  
塚本寿夫  
中村敏和  
浜坂剛  
向山厚  
小杉信博(史料担当)  
原田美幸(以下広報室)  
鈴木さとみ  
中村理枝

デザイン 原田美幸

印刷 株式会社コームラ

本誌記載記事の無断転載を禁じます。  
文責は著者に帰属します。